

環境

TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)に基づく開示
対象事業においてレジリエントな経営を行うことが可能です。

成り行き4シナリオでは、ごみ焼却発電施設で新興国を中心に堅調な需要増加が期待できる反面、政策面では大きな変化がなく、洋上風力発電など再生可能エネルギーの普及が限られたものになることが予想されます。一方、異常気象の激甚化による工程遅延やプラント停止といった物理的リスクへの対応

	想定される変化・世界観 概要	シナリオ
炭素税の 導入		
原材料価格 の高騰		
自然災害の 激甚化 (洪水、		